



平成23年3月期 第1四半期決算短信

平成22年8月5日

上場会社名 新内外綿株式会社

上場取引所 大

コード番号 3125 URL <http://www.shinnaigai-tex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福井 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 葛原 三治

四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日

TEL 06-4705-3781

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年3月26日～平成22年6月25日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,447	24.0	116	25.3	115	29.3	64	24.3
22年3月期第1四半期	1,166	△28.6	93	△42.0	89	△43.5	52	△43.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	3.32	—
22年3月期第1四半期	2.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	4,376	2,250	51.4	115.03
22年3月期	4,056	2,226	54.9	113.79

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,250百万円 22年3月期 2,226百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0.00	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年3月26日～平成23年3月25日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,500	13.0	164	9.4	160	12.1	93	12.2	4.75
通期	5,000	14.0	308	10.2	300	9.9	174	20.0	8.89

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期第1四半期	19,598,000株	22年3月期	19,598,000株
② 期末自己株式数	23年3月期第1四半期	28,768株	22年3月期	28,577株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年3月期第1四半期	19,569,296株	22年3月期第1四半期	19,571,082株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、平成21年3月を底とした緩やかな回復が続き、企業収益も回復基調が鮮明となり、個人消費も底堅く推移いたしました。

しかしながら、国内繊維業界は経済のグローバル化の中で、長期構造不況下にあり、厳しさが続いております。

このような状況のもとで、当社グループ紡績部門におきましては、「はやいや〜ん」と名づけた小ロット・多品種・短納期生産販売システムの一層の進化と全国繊維産地巡回展示会開催等による新たな販路開拓に努めました結果、同部門の売上高は9億24百万円となり、前年同期比2億10百万円(29.4%)の増収となりました。テキスタイル・製品部門におきましても、ニット分野は、当社の得意とするテンセル素材を中心に、国内生産をベースに強みを生かした商品に特化、織物分野は、テンセル素材等による差別化と中国オペレーションでの優位性強化に努め、製品分野は、ミセスブランド中心の販売基盤に加えキャリア・ヤング市場への取り組みを進めました結果、同部門の売上高は5億22百万円となり、前年同期比69百万円(15.4%)の増収となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は14億47百万円(前年同期比2億80百万円の増加)となり、利益面におきましても営業利益は1億16百万円(同23百万円の増加)、経常利益は1億15百万円(同26百万円の増加)となりました。特別損失として固定資産除却損1百万円、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額計49百万円を計上しました結果、当期純利益は64百万円となり、前年同期比12百万円の増益となりました。

また、財務体質の改善につきましては、長短借入金に割引手形を含めた有利子負債の圧縮を図りましたが、資金需要の集中もあり、有利子負債は1億20百万円となり、前連結会計年度末比で13百万円の増加となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比3億19百万円増の43億76百万円となりました。これは主として販売規模回復に伴う売上債権および棚卸資産の増加によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比2億95百万円増の21億25百万円となりました。これも主として販売規模回復に伴う仕入債務の増加によるものです。純資産につきましては、前連結会計年度末比24百万円増の22億50百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。この結果、自己資本比率は51.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の連結ベースの現金及び現金同等物は、77百万円となり、前連結会計年度末比37百万円減少しました。

連結キャッシュ・フローの状況は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、75百万円(前年同期比30百万円の減少)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益(1億14百万円)、減価償却費(29百万円)、仕入債務の増加額(2億89百万円)等の増加と、売上債権の増加額(2億63百万円)、棚卸資産の増加額(1億4百万円)等の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、87百万円(前年同期比47百万円の増加)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、25百万円(前年同期比85百万円の減少)となりました。

これは主として、長期借入金の増加(65百万円)と、短期借入金の返済(52百万円)及び配当金の支払(39百万円)等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月6日に公表しました、平成23年3月期の通期連結業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月25日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月25日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,987	115,663
受取手形及び売掛金	1,344,484	1,080,515
商品及び製品	340,936	299,202
仕掛品	49,886	48,578
原材料及び貯蔵品	173,720	112,425
繰延税金資産	23,000	33,648
その他	20,995	32,771
貸倒引当金	△1,023	△1,445
流動資産合計	2,029,988	1,721,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,768,403	1,788,643
減価償却累計額	△1,460,391	△1,495,869
建物及び構築物(純額)	308,011	292,773
機械装置及び運搬具	1,957,751	1,948,361
減価償却累計額	△1,749,690	△1,730,839
機械装置及び運搬具(純額)	208,060	217,522
土地	1,702,657	1,702,657
その他	125,519	122,572
減価償却累計額	△112,511	△111,361
その他(純額)	13,008	11,210
有形固定資産合計	2,231,737	2,224,163
無形固定資産	648	648
投資その他の資産		
投資有価証券	3,226	3,197
長期貸付金	3,250	3,282
繰延税金資産	86,282	82,464
その他	24,289	24,376
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	113,848	110,121
固定資産合計	2,346,235	2,334,933
資産合計	4,376,224	4,056,294

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月25日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月25日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,999	603,017
短期借入金	68,664	106,700
未払法人税等	42,370	5,083
賞与引当金	9,778	38,534
その他	170,936	175,153
流動負債合計	1,163,749	928,489
固定負債		
長期借入金	51,336	—
退職給付引当金	210,094	200,955
長期未払金	9,000	9,000
再評価に係る繰延税金負債	691,052	691,052
固定負債合計	961,483	901,008
負債合計	2,125,232	1,829,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	731,404	731,404
利益剰余金	512,217	486,415
自己株式	△2,839	△2,825
株主資本合計	1,240,781	1,214,994
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△532	△399
繰延ヘッジ損益	△305	1,154
土地再評価差額金	1,011,047	1,011,047
評価・換算差額等合計	1,010,209	1,011,802
純資産合計	2,250,991	2,226,796
負債純資産合計	4,376,224	4,056,294

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年6月25日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月26日 至 平成22年6月25日)
売上高	1,166,998	1,447,018
売上原価	900,620	1,145,072
売上総利益	266,377	301,945
販売費及び一般管理費	173,346	185,393
営業利益	93,031	116,551
営業外収益		
受取利息	476	241
受取配当金	69	101
その他	474	906
営業外収益合計	1,020	1,249
営業外費用		
支払利息	1,394	507
手形売却損	1,355	951
賃貸収入原価	795	—
為替差損	558	387
その他	411	159
営業外費用合計	4,515	2,006
経常利益	89,536	115,794
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	422
特別利益合計	—	422
特別損失		
固定資産除売却損	—	1,534
特別損失合計	—	1,534
税金等調整前四半期純利益	89,536	114,682
法人税、住民税及び事業税	29,316	41,824
法人税等調整額	7,966	7,918
法人税等合計	37,282	49,742
四半期純利益	52,253	64,940

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年6月25日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月26日 至 平成22年6月25日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	89,536	114,682
減価償却費	22,920	29,229
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△108	△422
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,277	9,139
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,497	△28,756
受取利息及び受取配当金	△545	△343
支払利息	1,394	507
為替差損益 (△は益)	△630	△224
有形固定資産除売却損益 (△は益)	—	1,534
売上債権の増減額 (△は増加)	△117,926	△263,968
たな卸資産の増減額 (△は増加)	107,479	△104,335
未収入金の増減額 (△は増加)	45,420	△466
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,272	830
仕入債務の増減額 (△は減少)	37,005	289,035
未払金の増減額 (△は減少)	12,598	△11,018
未払費用の増減額 (△は減少)	14,479	14,350
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	20,099	19,502
小計	205,230	69,276
利息及び配当金の受取額	545	343
利息の支払額	△1,290	△439
法人税等の支払額	△98,629	△3,334
法人税等の還付額	—	9,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,856	75,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,076	△87,162
投資有価証券の取得による支出	△219	△252
長期貸付金の回収による収入	31	32
その他	374	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,889	△87,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△30,000	△52,000
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△45,100	△14,700
自己株式の取得による支出	△63	△14
配当金の支払額	△35,880	△39,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,044	△25,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	630	224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△44,447	△37,676
現金及び現金同等物の期首残高	113,677	115,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,229	77,987

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループは、専ら繊維事業及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

[海外売上高]

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。